

第4章 電気火災に係る課題

第1節 発火源となった製品に関する課題

電気火災のうち発火源として最も多い電気ストーブによる死者は後期高齢者が多く、特に使用者の不注意による火災が多くを占めている。

近年の増加傾向が著しい“リチウムイオン蓄電池が組み込まれたポータブル蓄電装置”については、廃棄方法が明確になっていない。

問題点

【データ分析】

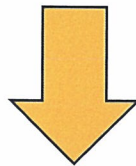
- 過去30年に渡る電気火災のデータ分析を行い、発火源及び死者の多い製品を把握し、検証が必要な事項を整理

【電気ストーブ】

- 電気ストーブと可燃物を近接して使用することで、火災が多発している
- 高齢者の死者が多い

【リチウムイオン蓄電池が組み込まれたポータブル蓄電装置】

- リチウムイオン蓄電池が圧壊されることにより発火する火災が増加している



課題

【データ分析】

- データ分析の結果、発火源として多い電気ストーブの検証を行う
- 近年特に火災が増加している製品としてリチウムイオン蓄電池の検証を行う

【電気ストーブ】

- 電気ストーブと可燃物に係る火災性状などの検証
- 高齢者にも安全な電気ストーブの検討

【リチウムイオン蓄電池が組み込まれたポータブル蓄電装置】

- 圧壊によるリチウムイオン蓄電池の火災性状の検証
- 圧壊を防止するための取組みの検討

第2節 課題に係る検討項目

本検討部会では、これらの課題を解決するため、次の事項について検証及び検討を行った。

1. 電気ストーブの検証

- (1) 加熱性状実験
- (2) 熱流束測定
- (3) 一酸化炭素測定
- (4) 認識確認実験

2. リチウムイオン蓄電池が組み込まれたポータブル蓄電装置の検証

- (1) 圧壊実験
- (2) 短絡実験

3. 後期高齢者対策

- (1) 電気火災の過去30年データ分析
 - ① 電気ストーブ、電気こんろ、コードが発火源となっている火災が特に多い
 - ② 後期高齢者特有の問題はあるか
- (2) 高齢者にやさしい生活環境作り
 - ① 電気製品の正しい使用方法と周知方法
 - ② 既存製品に対する付加機能により有効と考えられる装備